

いよいよ  
7月

安倍暴走政治NO！県民に寄りそうあたたか県政を



# 金井忠一 知事候補、77市町村を駆ける！

## 人柄・政策知らせる対話集会を軸に 50万対話運動を告示まで

6月24日の「県民の会」総決起集会を結節点に、金井忠一候補が参加する学習集会・対話集会が開催され、金井候補の訴えに大きな共感が広がっています。



池田町と松川村「県民の会」合同で「金井さんの話を聞く会」に50人（6月21日）



「県民の会」参加団体「健和会」総会（飯田市）であいさつする金井候補（6月17日）



「上小県民の会」主催の県政学習会が開かれ、県民の会政策担当の山口県議が講師で県政の問題点と転換の展望を語り合いました（7月1日）。

### 感動を呼んだ金井候補のあいさつ（前半要旨）を紹介します

最初に全県のみなさんに自己紹介します。

農家の長男として上田市の山村に生まれ、6歳の時父を交通事故で亡くしました。多くの人に助けてもらいましたが、私は母を助けて、朝早くから学校に行く前に牛やヤギを河原の草のあるところにつないできました。田んぼとお蚕さんを飼って、朝も夜も文字通り小学校から高校まで働きつめました。

早朝の桑取り作業のさまたげになるといって仕事が終わると母が家中の電気を消してしまうこともしばしばでした。勉強をすることもできません。私もつらかったですが、母は何倍も切なかつたと思います。父を早く亡くした苦労、母の深い想い、それが私の原点です。

市役所に臨時職員で入り、正職員になって25年間つとめました。45歳の時、市議会議員に出てくれと言われ、3人の子どももいましたから悩みましたが、市議会議員になればもっと市民の役に立てると決意しました。3000件の生活相談も生きるか死ぬかの本当に深刻な相談でした。いまでも県の生活と健康を守る会会長として全県を回って頑張っています。

私が決断したのも、私の人生における生き方そのものだからです。市役所25年、市議19年間生きてきた恩返しとして県知事候補の決意をしました。（6月24日）



原村市民連合が金井候補を呼んで27人で集会、推薦をきめました（6月15日）。



Wアベパネルが話題です  
決起集会で紹介された阿部知事と安倍総理のツーショットが衝撃を呼んでいます。（A3パネルを増刷中）

### 「いっぺんで金井さんのファンになりました」

——決起集会で寄せられた感想より——

- 「県政をまかせられるのはあなただけ。金井忠一当選めざせ」
- 「安倍首相に推薦色紙をもらっているとは、怒りが沸きました！」
- 「きょう初めてお会いしました。松本ですが、なびります」
- 「苦しみに寄りそう県民の立場に立つ金井知事誕生させよう」
- 「今日の演説は特に胸にストンと落ちました。阿部県政の事実を浸透・拡散させないといけないと思いました」
- 「金井候補は、明るく元気で頼りがいがあります。長野県の農業を守って下さい」
- 「金井さんのあいさつに感動した。あきらめない力強さ、貧しい人の立場を貫いた金井さんこそ変えることができる」